



澤本 長俊 議員

湖西線の運休課題について

問

**重要課題として国や県など
取り組むべきだがどうか**

答

湖西線利便性向上プロジェクト推進協議会で
協議してまいります

問

湖西線利便性向上プロジェクト推進協議会は年1回の開催とのことだが、この頻度で本当に解決に向かうのか。市が事前に対策を考え、具体的な提案を協議会でしてこそ物が動くと考えるが如何か。

答

都市整備部長

この協議会の委員の構成は、滋賀県知事、各市長が委員となり、その下部組織として担当課長等が幹事となつて、様々な課題について事前
に議論をしています。昨年度の会議につきましては、湖西線開通50周年事業のこともあり、幹事会、実務者レベルを合わせると8回開催しています。

強風対策、運休時の対策等につきましては、事前に市において対応策、またそれに対する課題等を整理したうえで、幹事会、そして協議会に改めて問題提起し、協議検討を進める準備を進めてまいります。

て進めるべきと考えるが如何か。

答 都市整備部長

湖西線は高島市にとって市外へのアクセスを考えたとき、公共交通機関では唯一の機関であることから、この運休課題は人口減少に大きな影響を及ぼしていると考え、運行事業者が民間企業であっても様々な角度から対策を考え、講じていかなければならないと考える。

問 防風柵の強化等、抜本的な対策を進めるため、高島市の重要課題に位置付け、運行事業者だけでなく、国や滋賀県、また大津市や長浜市と協力し

湖西線の運休対策や利便性向上は、大津市や長浜市と共有する課題であるだけでなく、3月に開通しました北陸新幹線敦賀駅以南の乗降客への対応など、県域を超える課題であると認識しています。
今後におきましても、県と3市で構成する「湖西線利便性向上プロジェクト推進協議会」等の場で、運転見合わせの回数削減、代替手段の検討、速やかな運転再開、迅速かつ

